

ニテ
整理
1922

昭和二十年年度整備計画ノ方針

附三〇
取
本

所要量ヲ極力確保スルモノ

一 決戦兵器及特別攻撃隊用兵器

二 航空機部品

三 各種兵器部品（代燃機部等）及兵器修繕

四 航空武器弾薬

五 航空機燃料（電波兵器用）

六 地上兵器

ノ 大砲（迫撃砲、一般火砲、大口徑噴進砲）

二 戦車兵器（戦車自走砲等）

三 歩兵兵器（機関銃、小銃、擲弾筒等）

1775

各種書 録載 廣河 輪重 漆村

大野重長傳 (機軸傳ノミ)

田右衛門ノ為屋箱スルノ止ムヲ得サルモノ

一陸奥長傳 (機軸傳ヲ除ク)

三浦重長傳 (防烟 舟關係ノモノ)

三舟 集

阿南自動車引取

天正機軸傳

六地上海難

備考

決断書及特政書ノ内容ニ就テハ別ニ檢討ス

昭和二十年年度経理計画

昭三〇三六八

各種品名	数量		單位	計	十九年度 所要額	二十年度 所要額	計
	数量	單位					
四式多聯高機	一	五〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
二式多聯	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五式四十耗	一	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
九四式山砲	三	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
九九式山砲	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九〇野砲	二	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
九五野砲	一	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
十加榴	五	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
十加榴	四	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
十五加榴	二	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
十五加榴	四	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
七加榴	一	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
新七加榴	五	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
九九八加榴	四	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
十二加榴	一	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
十五加榴	一	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
四〇噴遠砲	三	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十機噴遠砲	二	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
身	八	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
身	十二	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
身	十五	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
同本	七	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
同本	新七	〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
光學兵器	十	一五〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
光學兵器	十五	二〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇
計				9,633			
計					11,809		
計						21,442	
計							十九年度 所要額 一八七 二十年度 所要額 一三六 計 三二三
計							十九年度 所要額 一八七 二十年度 所要額 一三六 計 三二三

彈藥ノ分

品目	區分	昭和二十年年度整備		計
		整備目標	所要資材	
九九小銃(輕機槍)卷		三、五〇〇、〇〇〇	九〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇
重機 突包		六、〇〇〇、〇〇〇	三、九〇〇、〇〇〇	八、九〇〇、〇〇〇
拳銃 突包		三、二〇〇、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇
九九 彈藥		一、六〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇
步砲 彈藥		三、五〇〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	四、八〇〇、〇〇〇
九九 曲射 彈藥		一、〇〇〇、〇〇〇	三、一〇〇、〇〇〇	四、一〇〇、〇〇〇
四七 榴砲 彈藥		八、〇〇〇、〇〇〇	三、五〇〇、〇〇〇	一、一、五〇〇、〇〇〇
九九 輕迫 彈藥		五、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
四一 榴砲 彈藥		一、〇〇〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一、〇九〇、〇〇〇
山砲 彈藥		一、五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、五〇〇、〇〇〇
試四式七種噴進砲 庫藥		二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇
十三 迫 彈藥		五、〇〇〇、〇〇〇	〇	五、〇〇〇、〇〇〇
八九 迫 彈藥		三、五〇〇、〇〇〇	三、八〇〇、〇〇〇	七、三〇〇、〇〇〇
九九 手榴 彈藥		二、五〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇	八、五〇〇、〇〇〇
野山砲 彈藥		〇	一、六〇〇、〇〇〇	一、六〇〇、〇〇〇
十 榴 彈藥		〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
十五 榴 彈藥		〇	五、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇
高機砲 彈藥		六、〇〇〇、〇〇〇	一、三、八、五〇〇	七、三、八、五〇〇
七 高 彈藥		〇	一、九、八、〇〇〇	一、九、八、〇〇〇
新七 高 彈藥		三、二〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	七、二〇〇、〇〇〇
八 高 彈藥		六、〇〇〇、〇〇〇	〇	六、〇〇〇、〇〇〇
十 高 彈藥		〇	〇	〇
十三 高 彈藥		八、〇〇〇、〇〇〇	三、五、九、〇〇〇	一、一、五、九、〇〇〇
打上阻塞彈		六、〇〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	一、一、〇〇〇、〇〇〇
其他		〇	〇	〇
		31,994 ton	35,046 ton	67,040 ton
			未在庫	合計

手榴彈ノ分
一〇〇、〇〇〇
九九、〇〇〇

42 記帳簿 12L 3冊 20
 43 算帳簿 200冊
 8冊 10冊 2冊 3冊 4冊 5冊 6冊 7冊 8冊 9冊 10冊 + 22冊
 計帳簿 200 (1冊 100) 算帳簿
 已用 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 + 10冊
 計帳簿 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊
 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊
 計帳簿 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊

品 目	單 價	相 造 名		造 大		造 小		計	
		買 数	金 額	買 数	金 額	買 数	金 額	買 数	金 額
九九式短小銃	125		50000	5250		50000	5250	100000	10500
四式重筒 双新二〇口径機砲	45700					500	22750	500	22750
木一五五 ^{II}	7200					700	5040	700	5040
九四式山砲	13500		80	1080	40	540		120	1620
四一式山砲	11000		150	1650				150	1650
九二式歩兵砲	7120				100	712		100	712
四七式輕砲	23600				170	4012		170	4012
七五式戰車砲	14800				50	740		50	740
七五戰車砲(II)	15000				30	450		30	450
八式七高	38800				100	388		100	388
四式七高	77800				20	776		20	776
九式八高	70000				50	3500		50	3500
* 九式一塔載砲	15000				80	1200		80	1200
四式一極續進砲	5000				100	500		100	500
三 迫	50000				10	500		10	500
九九式高 予備身管	5000				200	1000		200	1000
四式七高 "	5000				180	900		180	900
八式七高 予備砲身	4500				300	1350		300	1350
JB-C-DE (60HP)	17400	600	8840					600	8840
口ヶ機関	18400	500	9200					500	9200
子ヶ機関	28500	50	1425					50	1425
口ヶ車体	50400	100	5040					100	5040
* 七五式戰車砲 車台	90000	50	4500					50	4500
三迫車台	120000	10	1200					10	1200
計			28205	7980	16668	33140			25993
*69ハ見積									

堀内 伊止
種分 之 備 乙
伊止 之 所 以 の

(一) 所要重ヲ極力整備スルモノ

一 決戦兵器及特別攻撃隊用兵器

二 敵要隘修築品

三 航空兵器

- 1. 航空機部品
- 2. 航空機燃料

半倉庫兵器部品 (代燃装置ノ含む) 及其修繕

四 航空武器弾薬

五 航空機脚輪器材 (電液兵器、通信)

四 地上兵器

火砲 (迫撃砲、一般火砲、大口徑噴進砲)

戦車兵器 (戦車自走砲ノ含む)

近戦兵器 (機関銃、小銃、擲弾筒等)

築城

河

輸重

林

林

林

四 決防空兵器 (機師他ヲ除ク)
右整備ノ為ニ縮スルノ止ムヲ得サルモノ
修配

三 電波兵器 (防空 舟關係ノモノ)

三 舟 艇

四 自動車牽引車

五 近戰器材

六 地上砲臺

備考

決戦兵器及特攻兵器ノ内容ニ就テハ別ニ検討ス

新機材の概況

種	種	数量	資材/状況	作業力	備	要
9110H		50	不 用	新7高60門	野戦用 脚ナシ	
9015H	100	15	✓	影響ナシ	運搬 (18七小定規ハハ軽米直定規)	定規1257奉記(月4月15)
		5	✓	12AAA4門	砲身構築完 大架ノミ	30月170 88年288
95 A	50	10	✓	7AAA5	砲架157門 材料全部完備	
90 A	50	20	✓	7AAA20	砲架207門 前取ハ10Hノモノ相當ニアル 構築若干ハイル簡單ナリ	
9210K	61	4	✓	12AAA5	構築ナシ他ハアル	他2部在り
9915K	50	4	✓	ナシ	砲身車支出来レバ可 七工場	コノ機使用シ得
		2	✓	12AAA5	半分位出来テアル 人レル影響大 砲身構築砲身車ナシ	
9615K	52	2	✓	12AAA4	40%完成 砲身完成構築50% 砲架0%	
I37 榴弾車砲		200	✓		3月一杯ニ60門出来ル他ハレバ出来ル	
437 榴弾車砲		350	✓		⊙ 用 (計費外)	
I47 榴弾車砲		1040	要		砲身支	
94 BA	100	110	不 要		名古屋ニ要求スレバ出来ル 計費外ニ	
41 BA		200	✓		資材大造ニアル 名古屋ニ保轉/モ/17年ニ400門分アリ?	24.24 25年370
99 小迫		200	✓		20年9月迄可能	
97 砲迫		100	✓			
99 投擲機		3000	✓			
12 迫	100	50	少 量 要		脚、パイプ、鐵板	
99 7.5 戦車砲		20	不 要	不 要		
自走砲トアルモ						
9110H	150	150				
9615H	100	200				

大砲ノ資材の見地ヨリノ戦力化可能調査
 一級
 二級
 三級

於二〇、
 大、
 二遣七

9710H 250
 1. 機材47奉記
 三迄 4

88D、中野協合
 止メ=125

98年4月2
 98年5月27
 98年7月27

98年2月28

55

表
其
二

砲種	砲数	作業力	備	要
特 24H長	142	工場全能力加門	砲身被筒 8門分アリ	
特 24H短	12	"		
96 24H	271	"	身管被筒ノミ 8門アリ	
89 15K	503	三門	砲身他=5本アリ	
96 15K	324	二門	砲身21本 被筒5本 播架11本 共他	
4 15H	210	0	砲身12本 被筒9本 播架4本アルモ 6ヶ	
92 10K	65	8AA 3倍	現在 培養民間工場ナシ	今般品ノミ
99 10BA	160	官13×94BA	航空部品工場ト競合 足困難 照準具困難	700158 除却168
対潜中迫	150	民	押ヘアリ	
対潜小迫	440	民		
97 中迫	170	民	鉄板ヲ要ス	
94 特迫	60	民		
90 A	10	7AA	戦車砲=使用ニ不足	
95 A	140	7AA	32mm口径 造ヲマシメ(故障多シ)	
7 AA	0			
8 AA	0		半途トナラヌ	被筒100余裕アリ
12 AA	0			

粗材及半途品ノ約半量ヲ有スルモノヲ示ス

陸
軍

能力記の分 あり
 上り本
 國家貯蓄計

品目	本	海	計	摘要
三十年式銃剣	一四八〇〇〇	一三〇〇〇〇	二七八〇〇〇	五十師團分及欠教補填
造 兵 刀	一三三〇〇〇		一三三〇〇〇	將校准士官軍裝用
九五式軍刀	五五〇〇〇		五五〇〇〇	五十師團分其他補給用
九九式小銃	一八五〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一九五〇〇〇〇	特設予備隊及特設ハセ七〇〇〇〇〇
八九式重擲彈筒	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	作隊員及予備隊員用
十四年式拳銃	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	本隊員及予備隊員用
九四式拳銃	一五〇〇〇〇	五〇〇〇	一五五〇〇〇	一般五十師團、飛行一〇師團分
十年式信号拳銃	三〇〇〇		三〇〇〇	航空隊及地上用
九九式輕機関銃	一四〇〇〇	二〇〇〇	一四二〇〇	五十師團及補給用
九二式重機関銃	四〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	
同 高射用具	三二〇〇	一〇〇〇	四二〇〇	
一〇〇式機関短銃	一〇〇〇〇	三〇〇	一〇三〇〇	半途品利用
九二式歩兵砲	一五〇		一五〇	本数量以上増え増加
九七式曲射歩兵砲	一〇〇		一〇〇	
一式機関四七粒砲	五〇		五〇	
四一式山砲	三六〇		三六〇	
九七式輕迫撃砲	一〇〇		一〇〇	半途品利用
九九式小迫撃砲	二〇〇		二〇〇	
十二粒迫撃砲	一〇〇		一〇〇	
對潜用十二粒迫撃砲	七〇		七〇	半途品利用
七粒半對戰車砲	一五〇		一五〇	
七粒噴進砲	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	
十粒半無反動砲	二〇〇		二〇〇	
三式七粒半戰車砲(重)	二七五		二七五	
新七粒半戰車砲(重)	二〇〇		二〇〇	
九八式投擲機	三〇〇〇		三〇〇〇	半途品利用
職具部品 駄馬具類				別ニ計ス

電力

光学兵器ノ分

品目	数量	備	要
九四式高射観測具	二八〇	七高、二高、計一六八中隊	
九六式照空観測具	一七五	探照灯整備数三〇、五〇中隊、三五大隊計七五	
機関砲隊観測具	五〇	五〇中隊分(ソキニ五〇)	
三式高射算定具	一五〇	七高用五五、八高用三八、十高用二七計二〇 他ハ訓練用、取替用及並裝被用ノ計トス	
三式高射撃手鏡	一八〇	七高用、十高用ハ(備用九〇、十高用八)	
三式電気照準具	一五〇	七高用五五、八高用六七、十高用二七計一七五 三式照準具ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
試製四式高射撃手鏡	四〇	試製四式高射撃手鏡ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九七式電気照準具	四〇	九七式電気照準具ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
砲地高射砲砲台設備用	一七〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
十二高作動用電鏡	三七〇	十二高作動用電鏡ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九〇式三米測高機	一五〇	算定具一〇〇ニ取替用トス	
六米測高機	六〇	七高、二高、計一六八中隊	
九八式一米測遠機	七〇〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九八式二米測遠機	一三〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九四式米対空測遠機	一〇〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
二式八倍双眼鏡	九〇〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九八式十五種双眼鏡	五〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九〇式航速測定機	四〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
八九式十種双眼鏡	三〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
対空双眼鏡甲托架	一〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九三式双眼鏡	三〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九三式十種観測鏡	一〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九三式野戰観測遠機	五〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九三式砲隊観測鏡	五〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
野砲用夜間眼鏡	五〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
新設砲隊用観測具	五〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
九八式高射砲観測具	一〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
木砲補給用部品	一〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	
光學子兵補給用部品	一〇	砲地高射砲砲台設備用ハ訓練用、取替用、並裝被用トス	

X七〇 九一式七夜視眼鏡
 X七〇 三式砲隊眼鏡
 X二五〇 砲隊眼鏡
 X印子モノ能カラ得ル用ハ概シテ不
 可能トス

遠戦弾薬ノ分

品目	数量	備考
九八式高射機銃	1,000.00	弾薬供給可能ナル全数發射ニ對シ一門五〇〇發宛
三十七式高射機銃	0	半量品ヲ一部戰力化シ他ハ武裝三十七式機銃ニ變更ス(在〇〇〇〇)
三八式機銃	1,000.00	五式四十式機銃備用及外地補給用
八八式高射機銃	1,000.00	一門砲防機銃下ニ對シ約三三〇〇發ヲ有ス流レノ一部ハ海軍ニ補充スルモ本能力ヲ他ニ轉用ス
七高機銃	2,000.00	地上火能トシテ使用スル場合ヲ考慮シ整備ス
新七高機銃	3,000.00	一門約八〇〇宛
八高機銃	2,000.00	本數量以上ニ増加スル如ク努ム
十高機銃	0	
十二高機銃	2,000.00	新造ニ對シ一門五〇〇宛
十五高機銃	2,000.00	新造ニ對シ一門五〇〇宛但シ火能ニ應ジ半減スルコトヲ豫メ
野山砲	0	留彈ハ防線後下一門七〇〇宛有スルヲ以テ整備ス
散甲砲	1,000.00	對戰車用トシテ半量品ヲ利用シ整備ス
十加機銃	2,000.00	備ハ本數量ニ整備ス(一門一〇〇〇宛在庫)タ
十五加機銃	0	藥莖ノミ三〇〇〇整備ス
九七式中迫撃砲	2,000.00	本能力ヲ他ニ轉用
九六式十五加機銃	1,000.00	補給可能ナル一五〇門ハ部隊保有機三三〇發ニシテ半量品ヲ整備セハ一門五〇〇發宛トス
三連機銃	1,000.00	半量品ヲ整備ス
二十連噴進砲	1,000.00	在庫六〇門新造三〇〇門一門四〇發宛
四十連噴進砲	1,000.00	一門三三發宛
武裝五〇連機銃	2,000.00	(原シセメカ)
九四式水上機銃	2,000.00	
九四式陸射機銃	2,000.00	
九四式代用機銃	2,000.00	
九四式小機銃	2,000.00	
八連打上阻礙砲	2,000.00	

備考
 一 中口徑機銃ノ製造ハ努メテ在庫ヲ以テシ作業力ヲ他ノ緊要彈種ノ製造ニ轉用スル如クス

◎ノ要取充テシメ人員兵備可成リノ増強ヲ要ス(×ヨリ轉用セハス)
 △ノ設備ノ補修増強ヲ要ス

備考の遠戦ニ合シ

品目	本	海	計	備考
九二小銃(陸機)実包	三五〇〇〇	一〇〇〇〇	三六〇〇〇	他種小銃実包等ノサテ ハ八分ノサテヲ行セシ 以下特ニ示スモノノ外 ノ一般ノサテ
九二重機実包	六〇〇〇	五〇〇	六五〇〇	
十四拳銃実包	二二〇〇	一〇〇	二三〇〇	ノ一般ノサテ
九二歩砲	一六〇〇〇		一六〇〇〇	五ノ距離ノサテニ合シ ノ對戦車資材
九七曲射榴彈	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
九四輕迫榴彈	五〇〇〇		五〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
四一山砲	五〇〇〇		五〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
四十七耗榴彈	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
對戰砲徹甲彈	八〇〇〇		八〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
七種半對戰砲徹甲彈	四〇〇〇		四〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
七種口又彈	二〇〇〇		二〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
十種半無反動砲彈	四〇〇〇		四〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
十二種迫撃砲榴彈	五〇〇〇		五〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
八九重榴榴彈	三〇〇〇		三〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
手榴彈	二〇〇〇		二〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
三式手榴彈	三〇〇〇		三〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
三式地雷	五〇〇〇		五〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
棒地雷	一五〇〇		一五〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
二挺円錐爆雷	一五〇〇		一五〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
五挺半球形爆雷	一五〇〇		一五〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
手投火焰瓶	二〇〇〇		二〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
手投煙瓶	二〇〇〇		二〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材
爆棄火具類	二〇〇〇		二〇〇〇	ノ一般ノサテニ合シ ノ對戦車資材

考 備	各 種 部 品	光 學 兵 器
		別ニ計置ス

一、本表ノ外航空武器トシテキ一〇九搭載砲一ニ〇ヲ整備ス、
二年途品ニシテ資材及能力ニ余力アル場合ハ全テ能力化ニ努ム

1790

品目	数量	備考
四式双機高機砲	一五〇〇	ソノ砲ノ生産ニ支障ナキ限り半途品ノ戦力化ニ努ム
二式多輪高機砲	〇	10%ハ戦力化ス
五式四十粒	一〇〇〇	戦力化ス
九四式山砲	三〇〇	資材ニ余裕アリ且加工余力アル場合ハ増加スルモノトス
九九式十粒山砲	〇	同右ハ半途品ノ戦力化ニ努ム
九〇式野砲	三〇〇	
九五式野砲	一八〇	
十加	五〇	半途品ノ戦力化ニ努ム
十加	四〇	前年別ニ完成スル如ク
十五加	三三	
七加	一五〇	資材ノ作戦力ニ余裕アル場合ハ増加スルモノトス
九式八高	四〇〇	
新製地高射砲	一〇〇	戦況ニ依リ半散ニ減スルコトヲ待
八八式機砲	四〇〇	
七七式高射砲	二五〇	戦車砲 自走砲ノ増加ニ伴ヒ本隊試ヲ減少スルコトヲ待
八式高射砲	三〇〇	
信	二〇〇	
新製地高射砲	〇	
二十粒機砲	二〇〇	十五榴級ノ火力不足ヲ補フ目的ヲ以テ整備ス
四〇式機砲	三〇〇	唯一ノ大口徑威力火砲トシテ整備ス
八式	〇	艦艇發生重ニ支障ナキ限り半途品ノ戦力化ニ努ム
自走砲	一〇〇	中戦車ニ搭載シ九六式十五榴ノ砲身ヲ架設ノ戦力化ニ努ム
一式四十七粒機砲	二〇〇	戦車砲ニ搭載スル如ク製作ス 戦力化ス
八八式機砲	〇	在取アルモノヲ以テ整備ノ態ナシ
二	〇	余力アル場合ハ整備ス
九式	〇	射光ト連動シ整備ヲ豫想ス
八式	〇	數額ヲ増加スルコトアリ且ニ射撃式ノモノニ整備ス
九式	〇	戦力ニシテ
十	〇	別ニ整備ス
十一	〇	一式九榴級砲一三〇ヲ整備ス
十二	〇	半途品ニシテ資材及電力ニ余力アル場合ハ余ヲ戦力化ニ努ム

銃器 又砲測候隊ニ於テハ〇印ノ兵器ノ要亦充足ニシテハハハノ過剩能力ヲ轉換シタル上更ニ
田子世年工費(又ハ資材)ノ増加及極メテ一部ノ設備補修及若干
ノ工場能力ノ活用取得ヲ要ス

寫 真

昭和二十年度爆薬整備量 (單位題) 昭和二十年 東二造

品 目	尖政本 要本	二 造 整 備 計 画										
		黄色	茶褐色	平 筆	每 瓦	硝 斗	淡黄粉	灰色	加付口	黒色針	計	
地	砲彈用 (或秋炸藥)	700	110		3620	3620		591				4,304
	單休爆藥	1,490		1,490								1,490
	子榴彈用	114	114									114
	地雷用	50	(50)									(50)
	爆雷用	1,050	(1,050)									(1,050)
	爆破用火藥	16,720	4,075				10,908	17	58	2,250	300	17,588
其 他	100	100									100	
計	22,260	5,525	1,490	3620	3620	10,908	608	58	2,250	300	24,749	
航 空	爆彈用	9,061	1,465	5,305	1,411	880						9,061
	其 他	441						441				441
	計	9,502	1,465	5,305	1,411	880		441				9,502
合 計	29,762	7,000	6,795	1,411	4,500	10,908	1,049	58	2,250	300	34,251	

備考 () 内ハ保教品

62

新設所
軍令連

第一号 (4月)

= 第二号

第三号

銃器	近戦	139,221
	遠戦	16,440
		54,845
		<hr/>
		210,506
火砲		163,846
光学		48,344
特殊器材		3,750
職工費		6
野戦器具		629
一般費		280
鉄糧		2,074
特殊器材		195,000
彈藥		422,885

自動車	182,049
舟艇	{ 20,650
	{ 7,500
裝軌車輛	190,020

裝軌車輛	5,880
支那軍	7,598
電信器材	190,000
一般器材	57,774
船隻	2,677
海運器材	114,039

400,219

377,968

1,533,346 (4月)

陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	昭和十七年度海軍法廷引渡通知書(第十六辨) 陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ	陸軍 命令 辨 一七九四 七〇リ
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	---	------------------------------

控

別紙添附

號外

昭和二十年度令達方取計相成度件

昭和廿年五月貳日

造 兵 課

第三三課 御中

昭和二十年度兵器別令達所要額別紙一通ニ付
至急令達方取計相成度

進而海軍ハ拾貳ヲ以テ外敷ニテ示シアルニ付合セ
令達方取計ハレ度

補給用部品ノ摘要欄ニハ「修理改修ヲ含ムト記入スレ度

64

陸

軍

(日本標準規格B-5)

1795